

昭和新聞社聯合報



385 (No. 569) 行發日十二月二十日五和昭

號九十四第 卷一第十

(可認物便郵種三第日九月十年九正大) (行發日曜土回)

アメリカ通常議會開會

ワシントン 十二月一日 (月)

アメリカ第七十一議會の最終通常會期は愈々今十二月一日正午を以つて開會された。開會式は極く簡単な儀式的の事柄だけで別に變つた事もなく、且つ民主黨側の提議によつて民主、共和兩黨の間に政治的休戦の協定が成立してゐる事にて、過般の總選舉により共和、民主兩黨の勢力が殆ど相伯仲するに至つた。第七十二議會が明年三月四日を以つて成立するまではアメリカ議會は一種嵐の前の静けさとも云ふべき無風狀態に置かるべく、今會期中は全く兩黨間の政争諸問題は兩黨領袖連の胸一つに納められて議場に出て來ないであらう。斯く政治的休戦協定が成立するに至つたのは民主、共和兩黨ともアメリカ現在の失業洪水を頗る重大視しその救濟並に早魃に悩む農民援助に關する立法手段をもつて現下の緊急事であるこし、この暗黙の間の一致が民主黨領袖側からの提案となり共和黨側の受諾する處となつて成立した譯である。

ワシントン 十二月二日 (火)

大統領フーヴァー氏は今二日の議會に對し、明年三月四日までの短かき今會期中に議せらるべき諸政策を勧告する恒例の教書を送り、大統領自身の施政方針の輪廓を明かにした。フーヴァー大統領は此の教書中に於て現に全米の産業界を襲ひつゝある失業問題對策並に旱魃に悩む農民救済問題を冒頭に掲げ、フーヴァー大統領が此の問題を如何に重視してゐるかを示してゐる。

フランス内閣の辭職

タルジュー内閣は本日上院に於ける四日フランス上院に於いて政府の政策に對する反対黨の彈劾が一三九票對一四七票で可決され、政府の敗北に歸した爲めタルジュー内閣は遂に總辭職した。

内閣辭職事情

タルジュー内閣は本日上院に於ける

對黨政府問責案で敗北を招いた結果遂に總辭職を決行するに至つたが、これより曩に政府の一般政策殊に銀行破綻

對獨軍備問題に關し反対黨議員エリーはこれに答へ左の如く辯明した。

フランスの經濟的地位は安定してゐる。外交關係は重視すべき形勢に

あるが、政府の對獨政策としては戰

捷の結果を維持し平和のために努力

してゐるのであつて何等憂ふべきも

がない。

アメリア外相の歐洲聯邦案に關し

はタルジュー氏は、

若しヨーロッパが今後十年以内に結

合するに非ざればヨーロッパのた

めに悲觀すべき結果を招來するであ

らう。

更にブリアン外相の歐洲聯邦案に關し

はタルジュー氏は、

若しヨーロッпаが今後十年以内に結

合するに非ざればヨーロッпаのた

めに悲觀すべき結果を招來するであ

らう。

更にブリアン外相の歐洲聯

株式・金融

ニユーヨーク株式市況

(ニューヨーク 十二月六日(土))

市況は初め見直してゐたが、その後反落歩調に轉じた。これは經濟界の情報が引立たないためである。然し乍ら相場は十一月の安値より上値を維持している。

ウォール街ではフーヴァー氏が議會に送つた教書を建設的なりと見てゐる。然しこれか各市場に與へた影響は殆ど足らない。一方鋼鐵生産高並に鐵道の貨物輸送高は引續き減少を示し又十一月中の小賣商内も昨年同期に比して減少してゐる。大鋼鐵會社はプレート・シェーブ及びバーの來年一二三月渡相場を一トント付一ドル引上げたが、これも既に株式には書入済で何等影響はない。さりとて大口の利喰ひも出でる。これは投資筋が經濟界の回復を待つて隱忍してゐる事を示すものである。

コール・マネーは目下二分、底意は稍弱りである。債券市場は一般に閑散、引弛み歩調である。

△株式取引出来高(単位千株)

十一月	降累計	最近十二ヶ月
元一八	二二、四七	二二、四七
元一九	二二、九七	二二、九七
元二〇	二二、五七	二二、五七
元二一	二二、四五	二二、四五
元二二	二二、三五	二二、三五
元二三	二二、二五	二二、二五
元二四	二二、一五	二二、一五
元二五	二二、零五	二二、零五
元二六	二一、九五	二一、九五
元二七	二一、八五	二一、八五
元二八	二一、七五	二一、七五
元二九	二一、六五	二一、六五
元二〇	二一、五五	二一、五五
元二一	二一、四五	二一、四五
元二二	二一、三四	二一、三四
元二三	二一、二三	二一、二三
元二四	二一、一三	二一、一三
元二五	二一、〇三	二一、〇三
元二六	二〇、九三	二〇、九三
元二七	二〇、八三	二〇、八三
元二八	二〇、七三	二〇、七三
元二九	二〇、六三	二〇、六三
元二〇	二〇、五三	二〇、五三
元二一	二〇、四三	二〇、四三
元二二	二〇、三三	二〇、三三
元二三	二〇、二三	二〇、二三
元二四	二〇、一三	二〇、一三
元二五	二〇、〇三	二〇、〇三
元二六	一九、九三	一九、九三
元二七	一九、八三	一九、八三
元二八	一九、七三	一九、七三
元二九	一九、六三	一九、六三
元二〇	一九、五三	一九、五三
元二一	一九、四三	一九、四三
元二二	一九、三三	一九、三三
元二三	一九、二三	一九、二三
元二四	一九、一三	一九、一三
元二五	一九、〇三	一九、〇三
元二六	一八、九三	一八、九三
元二七	一八、八三	一八、八三
元二八	一八、七三	一八、七三
元二九	一八、六三	一八、六三
元二〇	一八、五三	一八、五三
元二一	一八、四三	一八、四三
元二二	一八、三三	一八、三三
元二三	一八、二三	一八、二三
元二四	一八、一三	一八、一三
元二五	一八、〇三	一八、〇三
元二六	一七、九三	一七、九三
元二七	一七、八三	一七、八三
元二八	一七、七三	一七、七三
元二九	一七、六三	一七、六三
元二〇	一七、五三	一七、五三
元二一	一七、四三	一七、四三
元二二	一七、三三	一七、三三
元二三	一七、二三	一七、二三
元二四	一七、一三	一七、一三
元二五	一七、〇三	一七、〇三
元二六	一六、九三	一六、九三
元二七	一六、八三	一六、八三
元二八	一六、七三	一六、七三
元二九	一六、六三	一六、六三
元二〇	一六、五三	一六、五三
元二一	一六、四三	一六、四三
元二二	一六、三三	一六、三三
元二三	一六、二三	一六、二三
元二四	一六、一三	一六、一三
元二五	一六、〇三	一六、〇三
元二六	一五、九三	一五、九三
元二七	一五、八三	一五、八三
元二八	一五、七三	一五、七三
元二九	一五、六三	一五、六三
元二〇	一五、五三	一五、五三
元二一	一五、四三	一五、四三
元二二	一五、三三	一五、三三
元二三	一五、二三	一五、二三
元二四	一五、一三	一五、一三
元二五	一五、〇三	一五、〇三
元二六	一四、九三	一四、九三
元二七	一四、八三	一四、八三
元二八	一四、七三	一四、七三
元二九	一四、六三	一四、六三
元二〇	一四、五三	一四、五三
元二一	一四、四三	一四、四三
元二二	一四、三三	一四、三三
元二三	一四、二三	一四、二三
元二四	一四、一三	一四、一三
元二五	一四、〇三	一四、〇三
元二六	一三、九三	一三、九三
元二七	一三、八三	一三、八三
元二八	一三、七三	一三、七三
元二九	一三、六三	一三、六三
元二〇	一三、五三	一三、五三
元二一	一三、四三	一三、四三
元二二	一三、三三	一三、三三
元二三	一三、二三	一三、二三
元二四	一三、一三	一三、一三
元二五	一三、〇三	一三、〇三
元二六	一二、九三	一二、九三
元二七	一二、八三	一二、八三
元二八	一二、七三	一二、七三
元二九	一二、六三	一二、六三
元二〇	一二、五三	一二、五三
元二一	一二、四三	一二、四三
元二二	一二、三三	一二、三三
元二三	一二、二三	一二、二三
元二四	一二、一三	一二、一三
元二五	一二、〇三	一二、〇三
元二六	一一、九三	一一、九三
元二七	一一、八三	一一、八三
元二八	一一、七三	一一、七三
元二九	一一、六三	一一、六三
元二〇	一一、五三	一一、五三
元二一	一一、四三	一一、四三
元二二	一一、三三	一一、三三
元二三	一一、二三	一一、二三
元二四	一一、一三	一一、一三
元二五	一一、〇三	一一、〇三
元二六	一〇、九三	一〇、九三
元二七	一〇、八三	一〇、八三
元二八	一〇、七三	一〇、七三
元二九	一〇、六三	一〇、六三
元二〇	一〇、五三	一〇、五三
元二一	一〇、四三	一〇、四三
元二二	一〇、三三	一〇、三三
元二三	一〇、二三	一〇、二三
元二四	一〇、一三	一〇、一三
元二五	一〇、〇三	一〇、〇三
元二六	九、九三	九、九三
元二七	九、八三	九、八三
元二八	九、七三	九、七三
元二九	九、六三	九、六三
元二〇	九、五三	九、五三
元二一	九、四三	九、四三
元二二	九、三三	九、三三
元二三	九、二三	九、二三
元二四	九、一三	九、一三
元二五	九、〇三	九、〇三
元二六	八、九三	八、九三
元二七	八、八三	八、八三
元二八	八、七三	八、七三
元二九	八、六三	八、六三
元二〇	八、五三	八、五三
元二一	八、四三	八、四三
元二二	八、三三	八、三三
元二三	八、二三	八、二三
元二四	八、一三	八、一三
元二五	八、〇三	八、〇三
元二六	七、九三	七、九三
元二七	七、八三	七、八三
元二八	七、七三	七、七三
元二九	七、六三	七、六三
元二〇	七、五三	七、五三
元二一	七、四三	七、四三
元二二	七、三三	七、三三
元二三	七、二三	七、二三
元二四	七、一三	七、一三
元二五	七、〇三	七、〇三
元二六	六、九三	六、九三
元二七	六、八三	六、八三
元二八	六、七三	六、七三
元二九	六、六三	六、六三
元二〇	六、五三	六、五三
元二一	六、四三	六、四三
元二二	六、三三	六、三三
元二三	六、二三	六、二三
元二四	六、一三	六、一三
元二五	六、〇三	六、〇三
元二六	五、九三	五、九三
元二七	五、八三	五、八三
元二八	五、七三	五、七三
元二九	五、六三	五、六三
元二〇	五、五三	五、五三
元二一	五、四三	五、四三
元二二	五、三三	五、三三
元二三	五、二三	五、二三
元二四	五、一三	五、一三
元二五	五、〇三	五、〇三
元二六	四、九三	四、九三
元二七	四、八三	四、八三
元二八	四、七三	四、七三
元二九	四、六三	四、六三
元二〇	四、五三	四、五三
元二一	四、四三	四、四三
元二二	四、三三	四、三三
元二三	四、二三	四、二三
元二四	四、一三	四、一三
元二五	四、〇三	四、〇三
元二六	三、九三	三、九三
元二七	三、八三	三、八三
元二八	三、七三	三、七三
元二九	三、六三	三、六三
元二〇	三、五三	三、五三
元二一	三、四三	三、四三
元二二	三、三三	三、三三
元二三	三、二三	三、二三
元二四	三、一三	三、一三
元二五	三、〇三	三、〇三
元二六	二、九三	二、九三
元二七	二、八三	二、八三
元二八	二、七三	二、七三
元二九	二、六三	二、六三
元二〇	二、五三	二、五三
元二一	二、四三	二、四三
元二二	二、三三	二、三三
元二三	二、二三	二、二三
元二四	二、一三	二、一三
元二五	二、〇三	二、〇三
元二六	一、九三	一、九三
元二七	一、八三	一、八三
元二八	一、七三	一、七三
元二九	一、六三	一、六三
元二〇	一、五三	一、五三
元二一	一、四三	一、四三
元二二	一、三三	一、三三
元二三	一、二三	一、二三
元二四	一、一三	一、一三
元二五	一、〇三	一、〇三
元二六	〇、九三	〇、九三
元二七	〇、八三	〇、八三
元二八	〇、七三	〇、七三
元二九	〇、六三	〇、六三
元二〇	〇、五三	〇、五三
元二一	〇、四三	〇、四三
元二二	〇、三三	〇、三三
元二三	〇、二三	〇、二三
元二四	〇、一三	〇、一三
元二五	〇、〇三	〇、〇三

弛んだ。支那公債は一般に弱り、日本公債は極東からの賣り物で急落したが、目下の所では大分手堅くなつてゐる。

工業株は買ひ物不振。石油株は強調。之はロイヤル・ダッチ石油會社の總會で人氣引立たしめる様な發表があつたためである。ゴム株は閑散乍ら弱り。

不成功的噂は直ちに當地の内債市場に反映し、過般來内外債整理會議召集等の好材料により漸次昂騰、一時は百元に對し平均三元の暴騰さへ見せて立會中止の必要さへ唱へられた。内債の市場相場は一齊にガラ落を示し、現在では百元につき平均相場一元方の値下りを示し、内債相場の前途は悲觀されてゐる。

不成功的噂は右報道は信ぜられない。過去三ヶ月間に亘り印度政府が去る八月に賣つた銀の一部が廻り廻つて最近來たこの人氣を生じてゐる。然し當商會も賣り出されてゐるこの報道がある。

銀價が賣り出されてゐる銀の輸入が増加しない。當商會の信ずる所では今回の崩落は上海爲替の低落につれたものである。

上海爲替は支那の輸入が増加しない。上海爲替安は支那の輸入が増加しない。上海爲替は軟弱。日本爲替は頗る手堅い。

英國爲替は軟弱。これは主要外國爲替がボンドに不利な歩調を示し、且つ優等證券は軟調。これは主要外國爲替がボンドに不利な歩調を示し、且つ優等證券は軟調。これは主要外國爲替がボンドに不利な歩調を示し、且つ優等證券は軟調。これは主要

ドイツ汽船の火災

サンフランシスコ十一月卅日(日)
當地アメリカ・ラヂオ・コードボレー
シヨン接受の無電によれば、バナマ南方
エン号(五九一八トン)はマララ岬南方
方二十五哩許りの海上に於て火災を起
し救助を求めた結果イギリス貨物船ベ
ン・ホーヴィー号の援けを受け乗組員
全部同船に收容された。ハドウイツヒ
スハーフエン号の乗組員數は三十名
である。

日英米月末の物價指數

過去六ヶ月年同月	十一月	十二月	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月
一九二七年平均	一一〇九											
二五年同月	一一〇九											
二八年同月	一一〇九											
三〇年同月	一一〇九											

アメリカ物價指數

(プラットストリート誌調査)
十二月一日現在(單位千ポンド)

一九二七年平均

一九二八年同月

一九二九年同月

一九三〇年同月

一九三一年同月

一九三二年同月

一九三三年同月

一九三四年同月

一九三五年同月

一九三六年同月

一九三七年同月

一九三八年同月

一九三九年同月

一九三〇年同月

一九三一年同月

一九三二年同月

一九三三年同月

一九三四年同月

一九三五年同月

一九三六年同月

一九三七年同月

一九三八年同月

一九三九年同月

一九三〇年同月

一九三一年同月

一九三二年同月

一九三三年同月

一九三四年同月

一九三五年同月

一九三六年同月

一九三七年同月

一九三八年同月

一九三九年同月

一九三〇年同月

一九三一年同月

一九三二年同月

一九三三年同月

一九三四年同月

一九三五年同月

一九三六年同月

一九三七年同月

一九三八年同月

一九三九年同月

一九三〇年同月

一九三一年同月

一九三二年同月

一九三三年同月

一九三四年同月

一九三五年同月

一九三六年同月

一九三七年同月

一九三八年同月

一九三九年同月

一九三〇年同月

一九三一年同月

一九三二年同月

一九三三年同月

一九三四年同月

一九三五年同月

一九三六年同月

一九三七年同月

一九三八年同月

一九三九年同月

一九三〇年同月

一九三一年同月

一九三二年同月

一九三三年同月

一九三四年同月

一九三五年同月

一九三六年同月

一九三七年同月

一九三八年同月

一九三九年同月

一九三〇年同月

一九三一年同月

一九三二年同月

一九三三年同月

一九三四年同月

一九三五年同月

一九三六年同月

一九三七年同月

一九三八年同月

一九三九年同月

一九三〇年同月

一九三一年同月

一九三二年同月

一九三三年同月

一九三四年同月

一九三五年同月

一九三六年同月

一九三七年同月

一九三八年同月

一九三九年同月

一九三〇年同月

一九三一年同月

一九三二年同月

一九三三年同月

一九三四年同月

一九三五年同月

一九三六年同月

一九三七年同月

一九三八年同月

一九三九年同月

一九三〇年同月

一九三一年同月

一九三二年同月

一九三三年同月

一九三四年同月

一九三五年同月

一九三六年同月

一九三七年同月

一九三八年同月

一九三九年同月

一九三〇年同月

一九三一年同月

一九三二年同月

一九三三年同月

一九三四年同月

一九三五年同月

一九三六年同月

一九三七年同月

一九三八年同月

一九三九年同月

一九三〇年同月

一九三一年同月

一九三二年同月

一九三三年同月

一九三四年同月

一九三五年同月

一九三六年同月

一九三七年同月

一九三八年同月

一九三九年同月

一九三〇年同月

一九三一年同月

一九三二年同月

一九三三年同月

一九三四年同月

一九三五年同月

一九三六年同月

一九三七年同月

一九三八年同月

一九三九年同月

一九三〇年同月

一九三一年同月

一九三二年同月

一九三三年同月

一九三四年同月

一九三五年同月

一九三六年同月

一九三七年同月

一九三八年同月

一九三九年同月

一九三〇年同月

一九三一年同月

一九三二年同月

一九三三年同月

一九三四年同月

一九三五年同月

一九三六年同月

一九三七年同月

一九三八年同月

一九三九年同月

一九三〇年同月

一九三一年同月

一九三二年同月

一九三三年同月

一九三四年同月

一九三五年同月

一九三六年同月

一九三七年同月

一九三八年同月

一九三九年同月

一九三〇年同月

一九三一年同月